北海道グローバル戦略 - 第三期 - 概要

令和8年(2026年)3月

北海道グローバル戦略 第二期 概要

戦略の全体像

1. 策定趣旨、推進期間
2. 前戦略の振り返り
3. 北海道を取り巻く国際情勢、北海道の現状と課題
4. 展開方向
   - 北海道のめざす姿
   - 展開方向と推進に当たっての視点　～3つの展開方向、3つの視点
   - 北海道と世界各地域との交流の方向性　～重点的に取り組む分野と国・地域
   - 道内各地域における国際施策の展開　～地域における特徴的な取組事例等
5. 戦略の推進

北海道グローバル戦略 第二期 概要

策定趣旨

- 北海道を取り巻く国際情勢はめまぐるしく変化し、多様なグローバル・リスクが顕在化する一方、経済・食料安全保障など本道が果たす役割への期待が高まっている。
- こうした中、関係法令を遵守し、地域のルールを尊重するなど地域と世界の調和を前提としながら、世界の中の北海道として、本道のめざす姿とその実現に向けた展開方向を道民の皆様と共有することはますます重要。
- 新たな北海道グローバル戦略を策定し、道民や市町村をはじめ多様な主体と連携し、国際関連施策を総合的に推進。
- 経済・食料安全保障の確保を踏まえて国際施策を展開するとともに、交流の活発化に関連する様々なリスクを念頭に、安全・安心の確保や道内産業の持続的な発展など地域の成長につなげていくことを前提として各種施策を推進。

推進期間

- 令和8年度から令和12年度までの5年間
- めまぐるしく変化する情勢を踏まえて期間中も機動的に見直し

めざす姿

地域と世界が調和しながらともに発展し、世界で輝く北海道

地域と世界が調和しながら、グローバル化の進展を力として、誰もが安心して暮らし、世界の中の北海道として活躍していくことをめざします。

北海道グローバル戦略 第二期 概要

戦略推進に当たっての横断的な3つの視点

1. 経済・食料安全保障や地域の安全・安心を確保しながら、海外の活力を地域の成長につなげる
2. リスクマネジメントの強化、リスクをチャンスととらえる
3. ターゲットやニーズの明確化と相乗効果の創出

めざす姿の実現に向けた3つの展開方向

1 外国人を引きつけ、共生する地域づくり

外国人の方々が北海道を訪れたいと思うとともに、外国人が地域を理解し、日本人と外国人双方にとって働き暮らしやすい環境づくりを進め、外国人の方々の訪問や活躍を本道の地域の持続的な発展につなげます。

外国人材の確保

- 外国人材の確保支援と選ばれる環境づくり
- 北海道で働き暮らす魅力の発信

地域における外国人との共生

- 地域日本語教育の推進
- 地域の理解を踏まえた安全・安心な共生の環境づくり
- 多文化共生の理解促進

インバウンド

- 観光マーケティングの強化や高付加価値化の追求
- DXの推進や受入環境の整備
- 人材の育成・確保や移動利便性の向上
- 災害時の体制整備や危機対応力の強化、顕在化している諸課題への対応
- 戦略的プロモーションや効果的な情報発信

2 優位性を生かした投資・産業の呼び込みと世界目線の産業振興

広大な大地や豊かな海に抱かれた本道の特性や食、観光、再生可能エネルギーなどのポテンシャルを発揮することで、地域づくりと調和のとれた良質な投資など海外の活力の呼び込み、北海道ブランドの海外への広がりと活用などにより経済交流を推進し、本道経済の活性化や世界の課題対応への貢献につなげます。

産業振興

- 投資・産業の呼び込み
- GX関連産業の集積
- デジタル関連産業の集積
- 半導体関連産業の集積
- 食料安全保障の確保

海外展開

- 輸出先国・地域の多角化や品目の多様化などによる市場の拡大とリスク分散
- 高付加価値化の推進
- 海外展開の裾野拡大
- 輸出とインバウンド消費との相乗効果の発揮

3 国際交流・協力による地域間のつながりの拡大

国際交流の基盤となるネットワークづくりやグローバル人材の育成を進め、外国人材の確保や多文化共生、経済交流の推進はもとより、 本道の特性やこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用した国際協力や、多様な主体による海外との多彩な交流の創出・活性化につなげます。

多彩な交流

- 多彩な交流の創出
- 国際協力の促進

人・地域のつながり

- 人的ネットワークの構築
- 国際航空路・航路の拡大

グローバル人材

- 国際理解の醸成
- 外国語教育の充実
- 若者の留学支援
- 道民の海外渡航の促進

北海道グローバル戦略 第二期 概要

北海道と世界各地域との交流の方向性（重点的に取り組む分野と国・地域など）

外国人材確保

- アジア
  - ・ベトナム　高度　技能
  - ・インド　高度　技能
  - ・インドネシア　技能
  - ・ネパール　技能

等

成長分野

- 北米（米国）　半導体　GX
- 欧州（フィンランド）　DC
- アジア
  - ・シンガポール　DC
  - ・台湾　DX

等

友好交流、技術交流

- カナダ（ｱﾙﾊﾞｰﾀ州）
- 中国（黒竜江省）
- 米国（ﾏｻﾁｭｰｾｯﾂ、ﾊﾜｲ州）
- ロシア（ｻﾊﾘﾝ州）
- 韓国（ｿｳﾙ、釜山、済州、慶尚南道）
- タイ（ﾁｪﾝﾏｲ県）
- ﾌﾞﾗｼﾞﾙ、ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ（移住）
- 大洋州（ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ、ﾊﾟﾗｵ）等

インバウンド

北海道観光のくにづくり行動計画で設定

- 東アジア　リピーター獲得等
- 東南アジア　新規来訪者獲得等
- 欧米豪　長期滞在・周遊観光促進
- その他　新規需要創出

食輸出

食の輸出拡大戦略で設定

中国、香港、台湾、ベトナム、タイ、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、米国、ロシア、欧州（英国、ﾌﾗﾝｽ、ﾄﾞｲﾂ、ｲﾀﾘｱ等）、大洋州（ｵｰｽﾄﾗﾘｱ、ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ等）

注目エリア

- 中央アジア・モンゴル
- 中東
- アフリカ

道の海外拠点

- 海外事務所（ASEAN、上海、ソウル、サハリン（2022年～道職員駐在休止））
- どさんこプラザ（ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ、タイ）

※ロシア、中国については情勢を踏まえ対応

※その他の国・地域についても、国際情勢や国の政策の状況等を踏まえながら、関連する計画等と連動した取組を展開

地域における特徴的な取組事例

展開方向1　外国人を引きつけ、共生する地域づくり	取組主体の所在地
● 外国人材の受入	網走市、仁木町、新冠町、根室市、中標津町、東川町
● 地域おこし協力隊の活用、地域団体による交流促進	浜頓別町、留萌市
● 総合的な指針の策定、国際交流ステーションの取組	苫小牧市、紋別市
● 多様な主体の連携、市民によるおもてなし等	帯広市、当別町、釧路市
● 観光地域づくり法人の取組	旭川市

展開方向2　優位性を生かした投資・産業の呼び込みと世界目線の産業振興	
● 農林水産物などの差別化等による販路拡大	芦別市、乙部町、小樽市、江別市
● 高度外国人材を活用した販路拡大	増毛町

展開方向3　国際交流・協力による地域間のつながりの拡大	
● 姉妹都市交流を活用した高校の活性化	鹿追町
● スポーツ国際交流員を活用した交流促進	白糠町
● 大学が主体となった地域貢献とグローバル人材の育成	函館市

※ 上記に加え、14振興局の地域と連携した国際関連の取組を掲載

北海道グローバル戦略 第二期 概要

推進体制

- 国や市町村、企業・団体、関係機関など多様な主体との連携
- 庁内関係部局間で施策の取組状況や課題・対応の方向性を共有、有識者会議の意見、関係部局相互の連携、道の海外とのネットワークの活用

推進管理

- 毎年度の政策評価の活用や、総合計画の関連する指標及び有識者会議の意見等を踏まえて改善
- 各分野における具体的な施策の推進管理は、個別の特定分野別計画等と連携して実施

北海道総合計画の関連指標

- 外国人居住者数
- 観光入込客数、一人当たり観光消費額(外国人)
- 食料自給率、デジタル関連企業の立地件数
- 道産食品輸出額、輸出額
- 道内空港の利用者数(国際線)
- 日常的なコミュニケーションができる英語能力を有する生徒の割合

など

モニタリング数値

外国人住民の動向など次の3項目をモニタリングし、多様な主体における取組の改善につなげていく

- 在留外国人の国・地域、在留資格別の状況
- 日本語教室の設置など外国人住民への取組状況
- 道の施策により創出する海外からの投資件数

戦略に関する情報発信

- 多くの方々に理解と共感をいただけるよう、分かりやすい情報発信を行っていく。